

なぜアメリカは、世界で最も巨大な工業国となったのだろう。
また、同じ工業国でも、日本や他国とはどこが違うのだろう。

☆なぜ工業は発展した？（誰が支えた？）

19 世紀末～20 世紀はじめ

重工業の発達

↳ 鉄鋼、自動車

大西洋岸・五大湖沿岸

- ・ピッツバーグ
- ・デトロイト

← ヨーロッパからの移民

→ なぜ？

- ・水資源、鉄鉱石、石炭が豊富
- ・運河・水路の開拓

↓
重工業の停滞…

- ・日本やドイツから安くて質のよい鉄鋼や工業製品を輸入したから
- ・情報通信技術が発達したから

20 世紀後半

新しい工業の発達

↳ エレクトロニクス、航空宇宙産業、バイオテクノロジー、
ハイテク産業、情報技術産業

サンベルト(北緯 37° 以南の温暖な地域)

↓ ・カリフォルニア州のシリコンバレー

なぜ？

- ・石油、天然ガスが豊富
- ・土地や労働力が安価

← アジア系の移民

- ・人口爆発
 - ・農業の変容(近代化と凶作)
 - ・政治的迫害
 - ・宗教的迫害
- } 鉱工業の生産の安価な労働力

なぜアメリカにやって来たのか？
どのような役割を果たしたのか？

- ・出稼ぎ → 定住
 - ・就職
- } 専門知識・技術を持った安価な労働力

アメリカは豊富な天然資源があり、安価な労働力である移民が大量に流入してきたため、世界で最も巨大な工業国となり得た。

日本や他国との違いは、アメリカは移民によって構成されている多民族国家であること。

アメリカの工業の発展には、移民が大きな役割を果たしている。